



[安全衛生対策部報告]

紙パ連合との安全衛生情報交換会実施報告

日時：2023年10月19日（木）14:00～18:00

場所：横浜ゴム株式会社 三重工場
(三重県伊勢市御薗町高向 1038 番地)



【活動報告】

2023年10月19日（木）横浜ゴム株式会社 三重工場において、「紙パ連合との安全衛生情報交換会」を開催し、紙パ連合安全衛生委員会から8名とゴム連合安全衛生対策部から4名、オブザーバーとして横浜ゴム労働組合から1名が出席しました。

第19期運動方針、安全衛生活動の今期の具体的な重点とりくみの中に「他産別と安全衛生活動に関する情報交換を行い、安全の知見を広げ、好事例を加盟単組に展開する」ことを掲げており、昨年度より紙パ連合と安全衛生に関する情報交換を行っています。

その中で相互の事業所見学や情報交換を計画し、両産別の安全衛生の取り組みに生かすことを目的に開催しました。

冒頭、紙パ連合の原安全衛生委員会副委員長より受け入れへの感謝と「両産別とも労働災害撲滅に向けた取り組みは重要であると捉えている。今回の情報交換会では、両産別の取り組みや課題について情報交換を行い、安全衛生活動の強化に繋がっていききたい」など挨拶を頂きました。

情報交換に先立ち、三重工場の危険体感道場にて研修を受けさせて頂きました。その中ではエアシリンダーや油圧シリンダーの特性、ロール巻き込まれ、静電気起因による薬品火災、粉塵爆発、過電流による火災について実演があり、講師からは「この危険体感道場は労働災害の未然防止のための教育を行っているが、労働災害が発生してしまった時のために、どのようにして被災者を救出するかも教育している」との説明を受け、救出までの教育を行っていることに衝撃を受けました。

危険体感後、紙パ連合の方は現場の安全対策について工場見学を行いました。工場内には機械設備と作業者を分離するための安全柵が設置されており、安全柵の扉を閉めると柵に囲われた内側のエリアセンサーが起動し、設備内に取り残された作業者を検知して運転させない安全装置が設置されていることに驚いておられ、産別、単組に持ち帰って得た情報を展開して行きたいと言われておりました。

その後、情報交換会として両産別から安全衛生活動のとりくみや課題を報告した後、熱中症対策や切創災害防止、腰痛対策、今後の連携などについて意見交換を行いました。

次回（6月頃）は紙パ連合加盟単組の工場見学と情報交換会を開催することとしており、両産別の更なる安全衛生活動の取り組み強化に繋がっていききたいと考えています。

【スケジュール】

13:50	集合（横浜ゴム三重工場）
14:00～14:10	開会の挨拶（両産別代表者）
14:10～14:30	メンバー自己紹介
14:30～16:30	工場見学及び危険体感道場見学
16:30～16:45	休憩
16:45～17:15	各産別の安全衛生活動や課題を報告
17:15～17:55	情報交換会
17:55～18:00	閉会の挨拶（両産別代表者）

【参加者】

【ゴム連合 安全衛生対策部】（4名+1名）

福永 秀一（住友ゴム労働組合）
菊池 泰徳（日本ジャイアントタイヤ労働組合）
黒川 佳嗣（丸五ゴム工業労働組合）
富田 繁（ゴム連合）

【オブザーバー】

大木 和幸（横浜ゴム労働組合）

【紙パ連合 安全衛生委員会】（8名）

原 義和（王子エフテックス労働組合）
今野 慎也（日本製紙労働組合）
渡辺 真人（王子製紙労働組合）
荒岡 仁（三菱製紙労働組合）
福井 友彦（特種東海製紙労働組合）
宇高 秀樹（丸住製紙労働組合）
竹川 高志（紙パ連合）
船木 伸也（紙パ連合）

